

国立病院機構本部における取り組み

森 光 敬 子

要旨 平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震被災地に対しては、国立病院機構として災害対策本部、現地対策本部を設けるとともに、各病院から医療班を派遣し、継続的に支援を行った。

(キーワード：地震、医療班、国立病院機構)

EFFORTS OF NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION HEADQUARTERS

Keiko MORIMITSU

(Key Words : earthquake, medical team, national hospital organization)

平成16年10月23日18時頃に発生した新潟県中越地震に関して、独立行政法人国立病院機構は、直後から災害医療センターをはじめとした各病院より医療班を派遣して、被災地における診療に当たるとともに、東京都のDMAT（災害医療派遣チーム）の出動要請に基づく医師・看護師の派遣に応じるなどの対応をとってきた。

また、被災地の復旧・復興には今後も時間を要すると見込まれることから、10月25日午前、本部内に「平成16年新潟県中越地震災害対策本部」（本部長：矢崎義雄理事長）を設置し、当面継続的に、各病院より交代で医療班を派遣することとした。

以後、11月23日まで継続的に、各病院から医療班等を派遣し、国立高度専門医療センター派遣の医療班とも協力して、被災地における診療等を行った。

地震発生直後の対応

- (1) 10月23日（18時頃地震発生）
 - ・災害医療センターに医療班（3班）の体制を整えるよう指示（19時）。
 - ・災害医療センター医療班2班（10名）が新潟へ向けて出発（21時前）。
- (2) 10月24日
 - ・災害医療センター医療班がJA新潟厚生連魚沼病院に到着。外来患者等の診療に当たる。（6時）
 - ・災害医療センター医療班がJA新潟厚生連魚沼病

院から小千谷総合病院に移動し、外来患者の診療に当たる（12時前）。

- ・災害医療センターは、東京都のDMAT派遣要請に基づいて、医師1名、看護師2名を派遣（小国町避難所にて診療）（13時45分）。

(3) 10月25日

- ・長野病院医療班（4名）が被災地へ出発。
- ・仙台医療センター医療班（6名）が被災地へ出発。
- ・東京医療センター医療班（4名）が被災地へ出発。
- ・本部内に「平成16年新潟県中越地震災害対策本部」を設置するとともに、新潟病院内に現地対策本部設置を決定。

主な活動状況

- (1) 小千谷市（小千谷総合体育館、東小千谷小学校等）
 - ①10月25日、長野病院医療班が小千谷総合体育館において活動を開始して、以後、11月14日まで、国立病院機構の14病院から17医療班（延べ109名）が同体育館において継続的に活動を行った。

※医療班を派遣した病院

長野病院、大阪医療センター（2班）、神戸医療センター（2班）、金沢医療センター、京都医療センター（2班）、大阪南医療センター（2班）、名古屋医療センター、姫路医療センター、下志津病院、新潟病院、相模原病院、

国立病院機構本部医療課
別刷請求先：森光敬子 国立病院機構本部医療課
〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
（平成17年1月27日受付）
（平成17年2月24日受理）

結 語

本稿では政府の役割について述べてきたところであるが、医療に従事する者に対して3点を理解していただきたいと考えている。

1点目としては、政府の資源を活用していただきたいということである。

厚生労働省を含めて政府の支援が多岐にわたることは本稿でも多くの紙面を割いて紹介したところであるが、今後の災害においても一層の充実を図ることは国民から望まれていることなので、各省庁ともより洗練された支援・対策を講じることが予想される。このため、将来的に被災地に赴く機会があれば、これらの政府の支援・対策という資源を活用し、医療提供と組み合わせて被災者の治療やケアにあたっていただきたい。

2点目としては、厚生労働省として国立高度専門医療センターや国立病院機構を重視していることを意識していただきたいということである。

当省の公表では、医療を冒頭に位置付け、そのなかでも国立病院関連を中心に記載している。この点は今後も政府や厚生労働省の災害対策として国立病院関連を重視する方針は変わらないと考えられることから、常にこの

点を意識して日頃から業務に従事していただきたい。

3点目としては、学術的基盤に立脚した対応を目指しているということである。

被災者の生命を救済するのは、現実的には医療従事者を中心とした現場で活躍される者である。その当事者がいかに正確な「武器」を持つか、結果の評価指標である死者数等に確実に反映される。

厚生労働省としては従来、一般的な医療についてEBMという切り口から推進しているところであるが、災害における医療等についても本地震について特別研究班を設けたように、学術的に盤石なものを普及させたいと考えているところである。

ぜひ、臨床研究の推進と合わせて、災害における効果的・効率的な医療やケアの提供に資する検討を行っていただきたい。

災害の場面においては政府はあくまでも裏方である。当事者にとって必要な「武器」を提供することについて、今後とも十分に検討したいと考えていることから、政府の役割については幅広く意見を寄せていただきたい。

そして、信頼される国立病院としての役割の推進を図っていただきたい。

東京病院，西埼玉中央病院，香川小児病院
(医師のみ2名)

②10月26日，西新潟中央病院医療班が東小千谷小学校において活動を開始し，以後，11月14日まで，同院医療班が継続的に活動を行った(20日間，延べ70名)。

③11月4日，新潟病院の「子供の健康相談」チームが小千谷保健センターで活動を開始した。以後，小千谷小学校等へ場所を変えて，12月15日まで，同院同チームが継続的に活動を行った(42日間，延べ83名)。

④11月1日から7日まで，厚生連魚沼病院に対して，西新潟中央病院から看護師および栄養士を派遣し，応援活動を行った。

(2) 川口町(末広荘，川口小学校，泉水小学校，田麦山小学校拠点巡回等)

10月26日，仙台医療センター医療班が川口町において活動を開始し，以後，11月23日まで，国立病院機構の20病院から24医療班(延べ115名)が同町において継続的に活動を行った。

また，国立国際医療センターおよび国立成育医療センターからも継続的に，医療班が派遣され，協力して活動を行った。

※医療班を派遣した病院

仙台医療センター(2班)，東京医療センター(4班)，沼田病院，中信松本病院，高崎病院，埼玉病院，西埼玉中央病院，栃木病院，松本病院，千葉東病院，横浜医療センター，千葉医療センター，水戸医療センター，霞ヶ浦医療センター，静岡医療センター，三重中央医療センター，東名古屋病院，北海道がんセンター，宇都宮病

院，東埼玉病院，国立国際医療センター(6班)，国立成育医療センター(7班)

(3) 小国町(渋海小学校，ひまわり保育園，町立診療所等)

10月28日，長寿医療センターから先遣隊が派遣され，以後，11月9日まで，同センター医療班(3班)が継続的に活動を行った。

新潟県中越地震に関する取り組みの総括

国立病院機構本部において，新潟県中越地震被災地に対する医療支援の総括会議を開催し，初動体制や情報収集および伝達等の視点について議論を行い，活動全体の総括を行った。

総括会議には，国立国際医療センターをはじめとするナショナルセンター，災害医療センター，仙台医療センター，長野病院，新潟病院，西新潟中央病院等から医療班として派遣された医師や看護師，関東信越ブロック，東海ブロック，近畿ブロックの代表者が集まった。

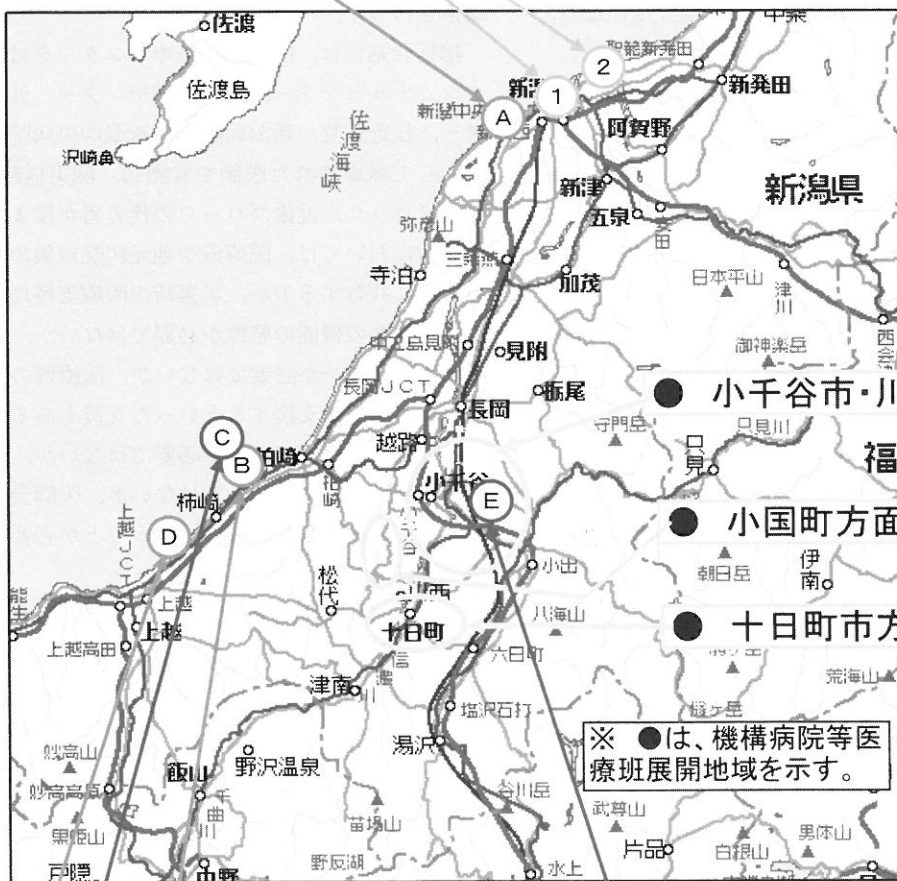
総括においては，医療班や地元病院が集めた情報をどのように共有するのか，災害時の医療支援における本部とブロックの機能の整理が必要ではないか，災害医療用のカルテの統一が必要ではないか，医療班の派遣以外に被災した病院を支援するといった支援もあるのではないか，医薬品の統一リストが必要ではないか，必要物資の供給体制等も検討すべきではないか，医師会や他の医療チームとの連携をスムーズに行うことが必要ではないか等の意見がだされた。

今後，国立国際医療センターを中心とした災害医療に関する研究班に協力し，これらの意見を踏まえたマニュアルを作成することとしている。



新潟県中越地震 災害派遣に係る 機構病院等新潟県内位置関係図

- A : 国立病院機構西新潟中央病院
- 1 : 新潟県庁(新潟県災害対策本部)
- 2 : 新潟空港(救難航空隊本部)



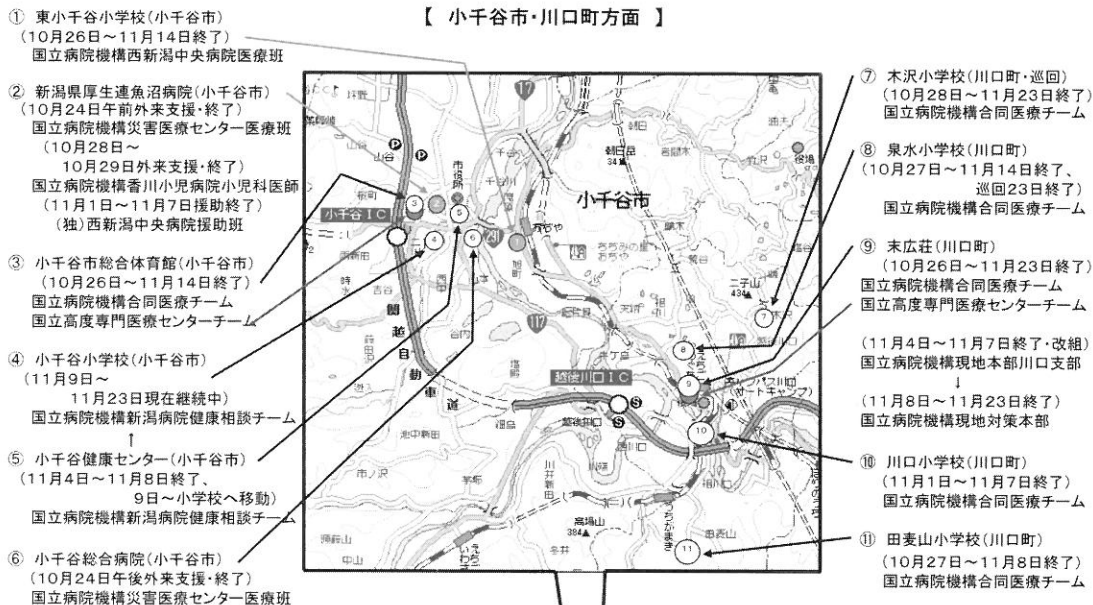
- B : 国立病院機構新潟病院
- C : 国立病院機構
新潟現地本部(10/25~11/7)
- D : 国立病院機構さいがた病院
- E : 末広荘
国立病院機構
川口支部(11/4~11/7)
現地本部(11/7~11/23)

図 1

国立医療機関災害医療班等展開図

(11月23日現在：国立病院機構西新潟中央病院 新潟県中越地震院内対策本部まとめ)

【西新潟中央病院 庶務班長 北原 誠 作成】

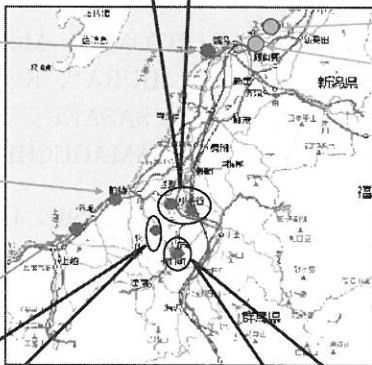


【県内位置関係図】

国立病院機構西新潟中央病院(新潟市)
(10月23日～11月23日現在継続中)
新潟県中越地震院内対策本部

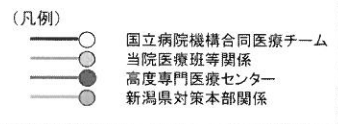
国立病院機構新潟病院(柏崎市)
(10月25日～11月7日終了、
8日～川口町・末広荘へ移動)
国立病院機構現地対策本部
国立病院機構現地本部 薬剤センター機能
国立病院機構西新潟中央病院本部付薬剤師
は11月17日で終了

国立病院機構さいがた病院(大潟町)
新潟県「心のケア」チーム要請受諾・待機中



新潟空港
災害救難航空隊本部

新潟県庁
新潟県災害対策本部



⑭ 十日町保健センター
(十日町市)
(10月28日～
11月23日現在継続中)
国立精神・神経
センターチーム(心のケア)

【小国町方面】



⑫ 洩海小学校(小国町)
(10月29日～11月9日終了)
国立病院機構合同医療チーム

⑮ 小国町災害対策本部(小国町)
(10月24日午後医療支援・終了)
国立病院機構災害医療センター・東京DMAT

【十日町市方面】



地図出典=yahoo! 地図情報
Copyright (C) 2004 Yahoo Japan Corporation.

図 2